



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

**MANKIND IS ONE—
Build Bridges of Friend Ship
Throughout the World**

**人類はひとつ
世界中に友情の
橋をかけよう**

1982~'83 R.I 会長 向笠広次

寺田会長 クラブターゲット 大切にしよう 好い仲間と 愛するクラブ

第 244 回 例会 58 年 4 月 28 日 第 50 号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
49名	40名	83.33%	97.92%

欠席者

古川、合田、原田、池田、古田土、高橋、
竹之内、山中、(病欠承認者 1名)

本日のプログラム 5月12日
「クラブ創立5周年記念式典準備打合せ会」

次週予定 5月15日
「クラブ創立5周年記念式典」

司会 SAA 土屋翁三君
ソングリーダー 上田利久君
「それでこそロータリー」

<ゲスト>

大西祝雄氏 (大和市福祉課長)

<ピシター>

美濃谷文雄君(横浜瀬谷)、亀田義文君(座間)
安藤忠夫君、小沢昭治君、道岸唯一君、小川 功
君、村田 仁君、山本壮兵衛君、宮沢義武君、牧
岡良和君、南雲浩一郎君(大和)

<会長報告>

会長 寺田 伍六君

①青少年交換学生の受入れについて、各家庭にま
で相談を願いましたが、今日現在まだ全員の方の
回答はありませんが、日時もありませんので、当
クラブとしては受入れの方向で、本日臨時の理事
役員会で検討いたします。

②5月15日の創立5周年記念式典が間近となりましたが、先般ガバナーよりナザレ園支援の呼びかけがあった件について、当クラブが東慶州ロータリークラブと姉妹関係にあるので、国際親善委員会活動ということで、当クラブが差し出し方、東慶州ロータリークラブが受取り世話方に、更に当日、100万ウオンが、創立5周年記念式典事業の中で、ナザレ園金理事長に対して東慶州ロータリークラブを通じて手渡されることが、決定されたとのことであります。またこの事業につき大和中クラブの会員におかれては、広報活動に出来る限りの協力を願いたいとの要請がありましたので、会員の方でその方面に知り合いの方がおられました

創立5周年記念式典まで、あと……

3日

全員で力をあわせ 成功させよう!!

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和市中心1-5-40
大和市商工会館内
☎0462-63-7926
例会場：大和市大和南1-4-4
八千代信用金庫大和支店4階
☎0462-64-3654

例会日：毎週木曜日12時30分より
会長：寺田 伍六君
会長イレフト：長谷川 清一
副会長：猪熊 唯夫
幹事：郡 司 守
会報委員：伊藤(宣)・後藤・富沢

ら近藤広報委員長と連絡をお取りいただき、広報活動に御協力をお願いします。

〈幹事報告〉

幹事
辻 国明君

- ①本日例会後、臨時の理事役員会を開催します。
- ②先にお願ひした青少年交換学生受入れのアンケートについて、未提出の方は至急お願いします。
- ③5月15日の大和市市民祭りは、当クラブは創立5周年記念式典となりますので、クラブとしては不参加の意向を市に伝えてあります。

〈委員会報告〉

創立5周年記念式典接待委員会 猪熊 唯夫君

創立5周年記念式典の日に、姉妹クラブ締結記念品として東慶州ロータリークラブに贈呈する品物を決定しました。会場の後部に置いた「連獅子」という人形ですが、私の友人から特別な値段で購入したものであります。

創立5周年記念式典実行委員会 蜂屋良平委員長

臨時の理事役員会後、記念式典実行委員会を開催しますが、次の方に出席をお願いします。会長、幹事、蜂屋実行委員長、長谷川副実行委員長、富沢(司会)、土屋(カメラ)、総務から長谷川、古木、施設から伊藤正、藤田、杉山、運営から亀谷、大高、親睦接待から猪熊、山中、記念誌記録から芦田、上田利、新設された姉妹クラブから北砂、有沢の以上の方々です。

創立5周年記念式典施設委員会 藤田 重成君

本日例会後、委員会を開催しますので、委員の方はお残り下さい。

プログラム委員会 委員長 上田 利久君

出来ることなら我々仲間の企業見学ということが望ましいことと思いますが、今年度は日本ビクター工場見学といたしました。詳細はお手元のプリントの如くですが、6月2日(木)午後0時45分、南林間東口(相鉄ローゼン)集合、1時から例会です。

親睦活動委員会 副委員長 橋本 健彦君

本日のお祝いの人々を紹介します。

誕生日 細野 順造君(4月28日)

土屋 翁三君(5月9日)

御夫人誕生日 芦田君静枝夫人(4月28日)

藤田君アサ夫人(4月30日)

杉山君洋子夫人(5月3日)

土屋君ゆき子夫人(5月8日)

結婚記念日 福本 国雄君(4月28日)

二見 長幸君(5月5日)

創業記念日 細野 順造君(5月1日)

近藤富士男君(5月6日)

入会記念日 布施 光雄君(54年5月10日)

※会報訂正※ 第243回例会(第248号)の幹事報告⑤の1983~84は1982~83に訂正。

ロータリー一口知識

出席記録からの除外について

クラブ会員が病気又は傷害のため、長期に亘ってクラブ定款の第8条5節の規定に従いがたき場合には、理事会に申し出ることによって、その理由が続く限り、出席規定の適用を免れることができる。この欠席は、クラブの出席記録には計算しないものとする。何れのロータリークラブに合計二十年あるいは其以上会員であった者で、年令六十五才を超えたシニア・アクティブ会員、又はパスト・サービス会員は、出席規定の適用より免除されたい希望を、書面を以って幹事に通告することができる。理事会が之を承認すればその会員の出席又は欠席はクラブの出席記録に算入されないことになっています。しかし、もし何年連続完全出席というような記録を樹てようとするれば、やはり毎週例会に出席するか、マーク・アップを励行しなければならないことであることに留意しておく必要があります。

〈卓話要旨〉 「障害者の福祉」

卓話要旨

大和市福祉課長
大西 祝雄氏

福祉全般について述べますと大変広い問題となりますので、今日は「障害者の福祉」について述べたいと思いますが、その前に昨年において実施していただきました、在宅の障害者のうちの養護学校に行っている子供達に対する激励会、当クラブの御好意で「地引網大会」をしていただいている訳ですが、非常に本人始め保護者達が喜んでおられてこのことに対してまず厚く御礼申し上げます。

私共が行政で担当しているのは、精神薄弱者（児）と身体障害者（児）の方々ですが、これらの方々を我々行政側で把握している数字というのは実態とはやや少なめであろうと思います。御存知の通り知恵遅れとか、身体障害者というのは、家庭内からの解放は大分進んだ訳であります、ただに一般社会の中にオープンになっているとは言い難い訳であります。

特に知恵遅れの方々は、保護者が外に出たがらない、また他とのかかわりを持ちたくないというのが実態なので、数字の把握もれがあるのではないかと考えています。

昭和57年3月現在、大和市においては、精神薄弱者（児童を含む）の方々が343名で、もちろんこれは行政がサービス面でかかわった人か、療育手帳を交付して行政が把握している数字ですが、身体障害者は部位別にそれぞれありますが、全体で1,629名であります。そもそも精神障害者とは、全体の発達が遅れ、精神的にも身体的にも普通の人と比べて身辺処理や社会生活への適応が困難な人のことであり、身体障害者とは、法律に定める等級に該当する身体上の障害があって、身体障害者手帳の交付を受けた人のことをいいますが、このような障害者に対する関心が国民や市民の間を高まって来たのは、国連が1981年を国際障害者年とした為、国や地方公共団体がPRをした結果

のここ数年であります。従来ややもすれば一般の人からも特別視され、また行政の側からも特別な市民として見られていた方々ですが、この方々の障害発生原因を考えてみますと、その46%は疾病からのものでありまして、家庭と障害者の発生は繋がりのないものであることがわかりましたし、障害はどこ家庭にも起こり得るということが認識されて来て、障害者の方を特別に考えない方向になったのです。従って障害者というと、すぐ施設に収容して云々というのが従来の日本の考え方だったのでありますが、近年は、在宅福祉というものが基本であり、それが無理な場合にのみ施設に収容して専門家の保護を受けることに考え方が変化してまいったのであります。

1982年に、国際障害者年を一年だけに終らせないで、1983年から10年間で「障害者の年」として国連で制定されたことに伴い、国・地方公共団体が一体となり、長期行動計画を作成せよということで市も準備している訳ですが、幸いなことに当市においては比較的施策が出来ていたものですから、市としましては、障害者福祉都市という国の指定を受けるような動きを考えている状況であります。この指定を受けたのは全国でまだ4～5市しかありませんし、ぜひこれを進めて今年来年の58・59年にかけて障害者の方の為の環境を整備していく考え方であります。市としてこの指定を受ければ、財源の負担割合も決まっていますし、積極的に投入していく考えであります。

障害者の状況、発生原因別状況、行政側の対応状況については別紙のとおりであります。

閑話休題

「心を撒く」

先日、友人から聞いた話であるが、高額所得者としてよく知られた財界人を訪ねたことがあった。用件を済ませた後で、大変にぶしつけとは思ったが、こう質問したそうである。「どのようにして現在のようなお金持ちになられたのですか」と。

その人は、しばらく黙っていたが、やがて温顔に笑みをたたえて答えた。「お金をためよう、ためようと思って、努力したことはありません。ひと様のため、また社会のために、私にできることなら、どんな小さいことでも、させてもらおうと思って、お金と一緒に、そういう心を撒(ま)いてきたつもりです。そして、気が付いてみたら、現在のようになっていたのです」と。「心を撒く」とは、なんと素晴らしい言葉であろうか。社会を構成する一個の人間として、よりよい社会を創るために、自分のできることを、少しの私心もなく実行し励んだというのであれば、社会がそれに共感しないはずはないであろう。世の中を動かすものは、結局、人の心だと思ふのである。米国の著名な経営学者が、かつて次のようなことを述べていたことがある。「米国人の多くは、日本人が画一的な発想と行動をしていると考えているが、日本の社会は、米国と同様に、競争社会である。しかし日本人は、世界経済に伍して行く上で、必要な一つのコンセンサスをもっている。そこに、日本の今日の成功の秘密がある」と。そして、その一つは、国益優先という経済行動上の慣習である。と、いって、「米国の経済者は、会社や業界の利益を代表していれば十分であるが、日本リーダーたちは、自分たちの利益から議論をスタートさせなければ、社会の納得を得られないのである」と。日本の社会をこのように見ている外国人がいるというのは、大変に興味深いことだと思う。しかし、日本もすでに経済大国なのだから、本当の意味で国益を考えるならば、それは、物や金を撒くだけでなく、それと一緒に、この地球上の世界を、よりよいものにしようとする「心を撒く」ことが、いよいよ大事になってきていると思うのだが。

〈スマイルボックス〉

副委員長
松崎 正実君

横浜瀬谷RC 美濃谷会員 お邪魔致します。よろしく。

座間RC 亀田会員 久しぶりです。よろしくお
願い致します。

大和RC 小沢会員 先日の統一地方選に当り暖
いご支度を賜り厚くお礼申し上げます。

大和RC 山本会員 連休にそなえてお世話にな
ります。皆様すばらしいゴールデンウィーク
を。

大和RC 小川会員、村田会員、安藤会員、宮沢
会員、南雲会員、牧岡会員、道岸会員 お世
話になります。本日もよろしく。

富沢君 先週は雑誌週間に当り雑誌委員の皆さん
に大変お骨折りをかけ申し訳ありませんでし
た。

細野君 誕生祝ありがとうございます。又創業記
念もありがとうございます。

土屋君 誕生日お祝いいいただき有難うございま
す。毎年私の誕生日には例会でビールが出るの
ですが今年は休日の為早くなり残念です。

芦田君 今日は家内の誕生日だそうでロータリー
ではクラブで色々の記念日を教えてもらえま
すので自分で気をつかわなくてすみ大変助か
ります。記念品ありがとうございます。

藤田君 言われて見れば女房は4月30日が誕生
日でした。祝って頂いて有難うございます。
帰って伝えてやれば婆さん喜ぶことでしょう。

杉山君 すっかり忘れていた女房の誕生日を教え
て頂きありがとうございます。これからはロ
ータリアンらしくすこし大切に可愛がってあ
げたいと思っております。

福本君 結婚記念日祝って頂きありがとうございます。
丁度31年前の本日に当ります。

二見君 結婚記念の祝品ありがとう。11年目
です。

布施君 おかげ様で今日まで続けさせて頂きまし
た。今后共よろしく。

近藤君 創業記念のお祝いありがとうございます。